

# 25 急性心筋梗塞の患者における 病院到着から90分以内のPCI施行率

## 指標の解説

- PCI(経皮的冠動脈形成術)は灌流療法の一つで、狭くなった血管をカテーテルやステントを使用して広げる治療法である。
- 急性心筋梗塞の治療においては、発症後できるかぎり速やかに再灌流療法(閉塞した冠動脈の血流を再開させる治療)を行うことが救命のために非常に重要とされている。
- 本指標では、急性心筋梗塞で入院後24時間以内にPCIを受けた患者のうち、「K5461経皮的冠動脈形成術(急性心筋梗塞に対するもの)」及び「K5491経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞に対するもの)」を算定している患者の割合を示している。当該手術料を算定するためには、「症状発現後12時間以内に来院し、来院からバルーンカテーテルによる責任病変の再開通までの時間が90分以内であること」という要件を満たしている必要があり、本数値が高いほど、急性心筋梗塞の患者に対し迅速な治療を行っているとは評価できる。

分子:「K5461経皮的冠動脈形成術(急性心筋梗塞に対するもの)」または「K5491経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞に対するもの)」を算定している患者数

分母:急性心筋梗塞の患者で入院後24時間以内にPCIを施行している患者数

